

【重要文化財 新指定の部】

① 戦前の弘前の地に出現した白亜のモダニズム建築

(近代／商業・業務)

木村産業研究所 1棟

所在地：青森県弘前市

所有者：一般財団法人木村産業研究所

木村産業研究所は、地域の産業振興を目的として弘前市街に昭和7年に建築された。設計は、世界的に著名な建築家ル・コルビュジエのアトリエに勤めた前川國男^{まえかわくに お}である。

白い壁と水平に連続する窓で均整のとれた外観をつくり、バルコニーやピロティ、曲面に張り出した外壁等で変化をつける。内部はガラス窓を多用し、玄関ホールに吹き抜けを設け、天井を赤く塗るなど、明るく開放的で、かつコントラストの強い空間を構成する。ル・コルビュジエが示したモダニズム建築の概念を体現する、我が国最初期の建物として価値が高い。



写真提供 弘前市教育委員会

○指定基準＝歴史的価値の高いもの

② ダイナミックな外観と壮大な内部空間を有する戦後建築の金字塔

(近代／文化施設)

代々木競技場 2棟

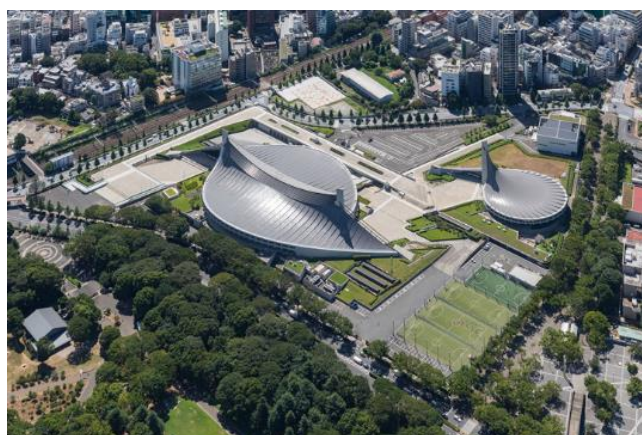
第一体育館、第二体育館

所在地：東京都渋谷区

所有者：独立行政法人日本スポーツ振興センター

昭和39年の東京オリンピックを機に建築された、建築家丹下健三^{たんげけんぞう}の代表作。吊り構造^{つりこうぞう}により、屋根及び観客席を支える象徴的な外観と、中央が伸び上がる壮大な内部空間を創出する。二つの半円形をずらして

組み合わせた^{ともえがた}巴形が生む動線計画も明瞭で美しい。当時一流の技術者を結集し、前例のない技法、構法を開発、駆使し、意匠、構造、機能を極めて高い水準で融合させて空前のダイナミックな建築を実現した。意匠的にも技術的にも秀でた、戦後モダニズム建築として価値が高い。



写真提供 独立行政法人日本スポーツ振興センター

○指定基準＝意匠的に優秀なもの、技術的に優秀なもの

③ 明治政府が独自に建設を推進した最初期の洋式灯台

(近代／産業・交通・土木)

御前埼灯台 1基、1棟

灯台、旧官舎

所在地：静岡県御前崎市

所有者：国（海上保安庁）

御前埼灯台は、駿河湾と遠州灘を隔てる御前埼の突端部に位置する。列強の要求に基づく灯台に引き続き、明治政府が推進した灯台建設の最初期に築かれた洋式灯台で、英国人技師ブラントンの指導により明治7年に初点灯した。灯台は二重円筒構造及び分銅筒を備え、回転式、一等レンズ設置の仕様で築かれた我が国最初期の煉瓦造灯台で、近代海上交通史上、価値が高い。灯台と共に建設された煉瓦造の旧官舎も併せて保存を図る。



写真提供 御前崎市教育委員会

○指定基準＝歴史的価値の高いもの

④ 観音霊場における中世末期の伽藍焼失からの復興を示す

(近世以前／寺院)

長命寺 2棟

三仏堂、護法権現社拝殿

所在地：滋賀県近江八幡市

所有者：宗教法人長命寺

長命寺は、琵琶湖に面する長命寺山の中腹に境内を構える天台系寺院である。永正13年(1516)の兵火で伽藍を焼失し、現在の諸堂は、その後、に再建されたものである。



写真提供 滋賀県文化財保護課

三仏堂は天正年間（16世紀後期）の建立と考えられ、釈迦・阿弥陀・薬師の三尊を安置する。入母屋造、檜皮葺の屋根は勾配を強めて棟高を際立たせる。護法権現社拝殿は永禄8年（1565）建立で、三仏堂西に渡り廊下で繋がる。当寺開山とされる武内宿禰を祀る本殿の拝所である。いずれも室町末期の兵火からの復興を示し、観音霊場巡礼寺院の伽藍を構成する建築として貴重である。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの

⑤ 国鉄が技術の粋を集めて建設した我が国初のプレストレスト・コンクリート橋

(近代／産業・交通・土木)

だいいちだいがわきょうりょう

第一大戸川橋梁 1基

所在地：滋賀県甲賀市

所有者：甲賀市

第一大戸川橋梁は貴生川と信楽を結ぶ旧国鉄信楽線に架かる、橋長31m、単線仕様の単桁橋である。国鉄が戦前の鉄道省時代から蓄積したコンクリート技術の粋を集め、昭和29年に建設した、わが国初の本格的なポストテンション式プレストレスト・コンクリート橋である。今なお高い品質を保つ優れたコンクリート構造物として価値が高い。工事の克明な記録を残すなど、戦後のコンクリート研究の発展にも寄与している。



写真提供 滋賀県文化財保護課

○指定基準＝技術的に優秀なもの、学術的価値の高いもの

⑥ 戦前の商都大阪を代表する百貨店

(近代／商業・業務)

きゅうまつざかやおおさかてん たかしまやひがしべっかん
旧松坂屋大阪店（高島屋東別館） 1棟

所在地：大阪府大阪市

所有者：株式会社高島屋

旧松坂屋大阪店（高島屋東別館）は、戦前大阪の中心的な商業地区であった堺筋に面して建つ。鉄骨鉄筋コンクリート造で、戦前の百貨店としては最大級の規模を誇り、荘重な都市景観を創出している。昭和3年から12年にかけて3期にわたって増築を重ね、商業建築が大規模化していく過程が知られることも重要である。アーケードやエレベーターホール等に意匠を凝らし、防火対策や設備も充実させた。百貨店建築を数多く手がけた鈴木禎次の現存作品として価値が高い。



写真提供 竹中工務店

○指定基準＝歴史的価値の高いもの

⑦ 昭和初期の木造校舎の典型を維持する希少な現役小学校

(近代／学校)

きゅうにしわきじんじょうこうとうしょうがっこう
旧西脇尋常高等小学校 3棟

だいちこうしゃ だいにこうしゃ だいさんこうしゃ
第一校舎、第二校舎、第三校舎

所在地：兵庫県西脇市

所有者：西脇市

旧西脇尋常高等小学校は、西脇市街の北西に所在する現役の小学校校舎である。昭和9年から12年に建設された木造二階建ての校舎3棟を並立させる。設計は地元の建築家内藤克雄ないとうよしおである。スティック・スタイルを基調とし、正面中央の玄関まわりに意匠を凝らした、簡潔ながら上品な外観を持つ。



写真提供 西脇市

教室の広さや建具の形式は文部省が制定した設計基準に準拠する。今般、バリアフリー化や耐震補強を実施しつつ、昭和初期の木造学校建築の典型的な姿を良好に維持する現役の校舎として、高い歴史的価値を有している。

○指定基準＝歴史的価値の高いもの

〈個別解説凡例〉

番号 特徴 (年代区分／種類別)

名称 員数

複数棟指定の場合の建造物の名称、土地* 等

所在地

所有者

(* 建造物と一体をなして価値を形成している土地を併せて指定するもの。)

〈国宝・重要文化財の指定件数〉

(国 宝)

令和3年5月答申

	種 類 別	現在指定数		新規指定		合計	
		件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数
近世以前の分類	神社	41	76			41	76
	寺院	157	165			157	165
	城郭	9	17			9	17
	住宅	14	20			14	20
	民家	0	0			0	0
	その他	4	8			4	8
	小計	225	286	0	0	225	286
近代の分類	宗教	0	0			0	0
	住居	1	1			1	1
	学校	1	1			1	1
	文化施設	0	0			0	0
	官公庁舎	0	0			0	0
	商業・業務	0	0			0	0
	産業・交通・土木	1	3			1	3
	その他	0	0			0	0
	小計	3	5	0	0	3	5
合計		228	291	0	0	228	291

(重要文化財)

	種 類 別	現在指定数		新規指定		追加指定		合計	
		件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数	件数	棟数
近世以前の分類	神社	575	1,263					575	1,263
	寺院	865	1,273	1	2			866	1,275
	城郭	53	235					53	235
	住宅	97	158					97	158
	民家	358	901					358	901
	その他	195	268					195	268
	小計	2,143	4,098	1	2	0	0	2,144	4,100
近代の分類	宗教	31	86					31	86
	住居	117	476					117	476
	学校	43	82	1	3			44	85
	文化施設	40	78	1	2			41	80
	官公庁舎	33	62					33	62
	商業・業務	24	39	2	2			26	41
	産業・交通・土木	87	303	2	3			89	306
	その他	5	17					5	17
	小計	380	1,143	6	10	0	0	386	1,153
合計		2,523	5,241	7	12	0	0	2,530	5,253

※重要文化財の数は、国宝の数を含む。